



# 議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書  
R6年12月（一般用）

## 『必然としてのサーキュラービジネス ～「利益」と「環境」を両立させる究極のSX』

経営  
戦略

磯貝友紀【著】/日経BP (2024/7)



「地球の限界の範囲内」という条件付きで、人間が欲望を追求することを肯定し、積極的に活動することで経済発展・環境保護の両立に成功している欧州企業をモデルに、今注目のビジネスモデル「サーキュラービジネス」に迫る。

## 『加速経済ベトナム～日本企業が続々と躍進する最高のフロンティア』

海外

兼木優典【著】/東洋経済新報社 (2024/10)



今「ベトナムビジネス」がおもしろい！1000社超の日本企業のベトナム進出をサポートした日本人初のベトナム公認会計士が明かす、日本企業が「最高のフロンティア」として躍進する鉄則とは何か？チャンスの宝庫ベトナムの実状がわかる。

## 『教師の自腹』

教員

福島尚子/柳沢靖明 他【著】/東洋館出版社 (2024/5)



教材購入、生徒の未納金立替、部活動のための資格取得、破損物の弁償…。教員間では周知の事実だが触れられてこなかった「教員の自腹問題」を大規模調査。集まった声から解決策を提案し、教員がより安心して働ける環境を目指す！

## 『デジタル化と地方自治～自治体DXと「新しい資本主義」の虚妄』

DX

岡田知弘/中山徹 他【著】/自治体問題研究所 (2023/5)



マイナンバーの紛失・漏洩事案は5万6000件超。最近でもなお、システムのトラブルが相次ぐ。「デジタル田園都市国家構想」は市民を置き去りにし、企業中心の事業に展開しているのではないかと著者は指摘。「地方行政DX化のリスク」に目を向けた1冊。

## 『尾瀬 奇跡の大自然』

環境

大山昌克【著】/世界文化社 (2024/7)



貴重な大自然 尾瀬を、オールカラーの写真と共に解説。絶妙なバランスの上に成り立っている奇跡的でデリケートな尾瀬を次世代に伝え、守るためにはどうすればよいのだろうか。自然保護とSDGsを推進するための課題に向き合う1冊。

## 『選挙との対話』

選挙

荻上チキ【編著】/青弓社 (2024/10)



選挙は行っても行かなくても変わらない？選挙にまつわる様々な疑問を、政治学やデータ分析の専門家たちが科学的に分析。選挙そして政治をより身近にたくり寄せるためのさまざまなヒントをちりばめた、すべての世代に向けた新しい選挙の入門書。

## 『大統領たちの五〇年史～フォードからバイデンまで』

政治

村田晃嗣【著】/新潮社 (2024/9)



「超大国アメリカ」を動かした9人のリーダーたちの功罪と知られざる内幕を明かす。各人の来歴、大統領就任への経緯、実現を目指した目標、関連事件、当時の日米関係などについて解説。「次なるアメリカ」を見通す、政治外交がわかる1冊！

## 『少子化～女“性”たちの言葉なき主張』

少子化

海老原嗣生【著】/プレジデント社 (2024/4)



時代の常識に翻弄される「女性の心」に焦点を当て、少子化の原因を探る。「働きながら、産み、育児する」という難題を内包した女性支援策、婚活・妊活ブームによるプレッシャー、不妊治療の最前線など、女性を結婚や出産から遠ざけてきた正体に迫る。

## 『全47都道府県幸福度ランキング 2024年版』

データ

寺島実郎【監修】/(一社)日本総合研究所 (2024/10)



シリーズ第7作目となる全国ランキング本。今号では「人口非集中地区の若者率」「農業の6次産業化伸び率」「無形民俗文化財数」など5つの項目を新たに加えた85指標で徹底比較。政策課題や効果の把握、地域の魅力発信のための参考となる1冊。



## 図書広報委員がおすすめする一冊

### ▶ 「古墳・埴輪」に関する書籍



#### 『古墳と埴輪』

和田晴吾【著】/岩波出版 (2024/6)



日本人はなぜたくさんの古墳や埴輪を造ったのか？考古学研究の第一人者が、中国・朝鮮半島の葬制からの影響を視野に入れ、古墳の宗教的・社会的役割を考察。古墳と埴輪の本質と古代人の他界観に迫る！

#### 『群馬の古墳を歩く』

前原豊・小島敦子【編】/みやま文庫 (2010/12)



古墳王国群馬の古墳ガイドブック。17名の執筆者が現場で直接古墳の調査を行った経験を生かし、読んでも楽しめる話を中心にわかりやすく解説。登場する古墳を訪れてみたいくなる1冊。

#### 『もっと知りたいはにわの世界 ～古代社会からのメッセージ』

若狭徹【著】/東京美術 (2009/4)



前方後円墳の始まりとともに生まれ、その終焉とともに姿を消した埴輪約300年の歴史を、そのビジュアルなどの特徴を元に読み解き、人々の暮らしを生き生きと浮かび上がらせる。埴輪学入門書。

#### 『埴輪は語る』

若狭徹【著】/ちくま書房 (2021/6)



王の権力を知らしめるために造られた古墳。そこに飾られた埴輪たちは、王の業績の正当性を主張しているという。大量の埴輪生産を可能にした組織や社会的ゆとりまで、古墳時代の「社会」を読む。

### 『深夜特急』



著者：沢木耕太郎/新潮社  
(1986年5月～2020年9月)



紹介者：須永 聡 委員  
自由民主党・伊勢崎市選出・1期

「深夜特急」は、沢木耕太郎が26歳のときにバックパッカーとして、香港からロンドンまでバスで旅した実体験を描いた紀行文です。自由な旅の中での出会いや冒険を通じ、彼が人生や自分自身と深く向き合っていく姿に心を揺さぶられます。

かつて「なんちゃってバックパッカー」として旅をした私も、その頃の自由な気持ちを思い出しながら、ページをめくるたびに新たな風景や人々に出会う感覚に浸りました。アジアからヨーロッパまでの多様な風景と出会いが、まるで自分が旅の一部となったような感動を与えてくれます。

忙しくて実際の旅が難しい日々でも、本を開けば異国の文化や景色、そして人々の物語が心を満たしてくれる大切な一冊です。

▶ 次号では、栗野 好映 委員におすすめしていただきます！



議会事務局政策広報課 (議会図書室)